

病院の理念

1. 医療活動を通じ、健やかなまちづくりに貢献
2. 地域連携の積極推進により、利用者にとって最良の医療を実践
3. つねに病院運営の刷新を図り、「愛され、信頼される病院」を実現

岐北厚生病院 広報誌 2008 11.1発行

2008 秋号 Vol.38

骨粗鬆症について一言
第8回 病院祭
職員紹介
部署紹介
岐北地域医療連携セミナーが
開催されました
外来診療担当表
その他

38号目次

青空



整形外科
リハビリテーション科部長

高見秀一郎

骨粗鬆症

について一言

この年代から十分に気をつけて生活されれば、腰の曲がったおばあさんに、あるいはちょっとしたことで骨折を起こすおばあさんにならずにすむと考えています。お顔にできたしわやしみの心配と同様にたまには骨の心配もされてはいかがでしょうか。

別掲の骨粗鬆症危険度チェックはチェック数が1〜5個なら青信号、6〜10個で黄信号、11個以上で赤信号です。黄信号や赤信号の方は、骨密度を測定されることをおすすめします。当院整形外科でもレントゲンを撮るだけの簡便な方法で骨密度が測定できます。

「骨がちよつともろくなっていますね。」などと言つと、大変反応がよく、「じゃあ、どついたらいいですか。」と問われる。「通り説明して、「でも一番大切なことは体を良く動かすこと、体の筋力をつけることです。体操をしたり、歩いたり、そつそつ、水泳や水中歩行なんかも大変いいですよ。」とお話します。すると、次の受診日、先生の言われたとおりにやってみました。水中歩行も始めました。おかげで体調が良くなりました。」と報告してくださる。こんな時はささやかですが、幾分かでもこの人のお役に立てたと大変喜びを感じます。このように元気で前向きに取り組まれるお年寄りが増えていることは誠に結構なことと思います。

ひるがえって、40代後半から50代の方はどうでしょうか。特に女性ではこのころから閉経後骨粗鬆症といって、閉経によるホルモンの変動に伴い急速に骨粗鬆症が進行します。骨粗鬆症といっても特に症状があるわけではありません。極めて密かに進行して、ある日、ちょっとした転倒で骨折を起こし、その存在に気づくといったものです。骨粗鬆症で骨折を起こす骨はだいたい決まっています。一つは背骨、それから脚のつけね、腕のつけね、手首です。恐ろしいことは背骨や脚のつけねの骨折では寝たきりになってしまう可能性があるということです。現に寝たきり原因の第二位第一位は脳血管障害に挙げられており、やがては二位になると考えられています。自分はまだ若いと、骨粗鬆症と聞いてもそれはうちのおばあさんの事と他人事のように考えていらつしやる方いませんか。私は

骨粗鬆症危険度チェック



<input type="checkbox"/>	年齢は55歳以上である
<input type="checkbox"/>	閉経した
<input type="checkbox"/>	どちらかといえば体格は細身である
<input type="checkbox"/>	最近背が縮んだ・背中が丸くなつたり、腰が曲がってきた
<input type="checkbox"/>	45歳以降、ちょっとしたことで骨折したことがある
<input type="checkbox"/>	牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品をあまりとらない
<input type="checkbox"/>	納豆・豆腐などの大豆製品をあまりとらない
<input type="checkbox"/>	散歩など、日常的に体を動かすことをしていない
<input type="checkbox"/>	屋外に出ることが少ない
<input type="checkbox"/>	家族に骨粗鬆症と診断された人がいる
<input type="checkbox"/>	ダイエットをしたことがある
<input type="checkbox"/>	タバコを吸っている
<input type="checkbox"/>	アルコールをよく飲む
<input type="checkbox"/>	内服のステロイド剤を使っている
<input type="checkbox"/>	胃や腸の手術をしたことがある





第8回 病院祭



今年で8回目を数える岐北厚生病院祭が平成20年8月21日、玄関ホールから外来診療棟を会場として開催されました。会場には入院患者様とその家族、また地域住民の皆様が訪れ、900人を超える人出で賑わいました。

昨年までと同様に、テーマを「健康の輪、地域と岐北厚生病院」とし、より一層地域住民の身近な医療機関として親しみをもち、健康増進の「きっかけ」を見つけていただきたいと開催いたしました。

会場では、今年から特定健診が始まったこともあり最新機器による「メタボチェック」や、看護師による「アロママッサージ」、岐阜女子大の「味覚チェック」を新しく取り入れました。また、骨折の原因となる骨粗鬆症の検査である骨密度測定や体脂肪測定、血圧測定などが手軽にできる「無料健康チェックコーナー」、山県市消防署員による「救急車両のペーパークラフト」、輪投げやヨーヨー風船釣りなどの「ゲームコーナー」、団子やかき氷、カレーライスなどの「味覚コーナー」、職員が持ち寄った品物を超格安で提供する「バザーコーナー」、武儀川の橋のある風景をテーマにした「絵手紙展示コーナー」など、どれも盛況でした。特に無料健康チェックコーナーは、毎年楽しみにしている方がいる程の人気ぶりでしたし、「味覚コーナー」の販売物や地元JA特産品の即売コーナーでは、「JAぎふ 太陽の会」の大豆蒸菓子は健康食品の試食とあってとても人気があり、「JAぎふ」のぶどうや梨の販売は短時間で完売となってしまいました。

2時間という短い開催時間にもかかわらず大勢の方々に来院をしていただき、地域の子供からお年寄りまで、皆様の岐北厚生病院に対する関心の高さを痛切に感じました。今後とも、より一層地域に根ざした身近で安心な医療機関としてご利用いただけるように全職員が努力いたします。

最後に、病院祭の開催にあたっては、地元の区会を始め多くの方々のご協力をいただき開催することができました。末筆ながらこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。



診療放射線技師
豊田 幸恵

平成20年10月より放射線科に配属となりました。分からない事ばかりで、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

スノーボード、郡上踊り
浜崎あゆみ
猪(突進するタイプです。)
寿司
ヤフーオークション
O型



診療放射線技師
平松 達

西美濃厚生病院よりまいりました。1時間以上かけて通勤しています。よろしくお願ひします。

バレーボール(東村山)
鼠先輩(ポッポー)
ミジンコ
肉
AB型



臨床検査技師
荒木 誠

七年半ぶりの岐北厚生病院。人も変わり、私の年齢も変わり、みんなについていだけで精一杯、早く仕事を覚えて頑張っていきたいです。

自転車
Bと、お笑い芸人全般
焼鳥
スラムダンク(再燃)
AB型

はじめまして 職員紹介



わたしはこんな人

趣味・特技
好きなタレント
自分を動物にたとえると?
好きな食べ物
マイブーム
血液型

部署 紹介

こんにちは！
健診センターです。



みなさんは定期的に健康診断を受けていますか？職場での健診、地域での住民健診やがん検診、病院での人間ドックなど、私たちの周りにはさまざまな健診制度があります。

わが国では、平成20年度よりメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した「特定健診」「特定保健指導」が始まりました。メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪の蓄積による「肥満」に加え、「高血圧」「脂質異常(高脂血症)」「高血糖」といった動脈硬化のリスクを併せ持った状態をいいます。この状態を放置しておくと、将来心筋梗塞や脳梗塞、糖尿病などさまざまな病気を引き起こす恐れがあります。メタボリックシンドロームはほとんどが自覚症状のないまま進行していき、ある日突然病気を発症し、命を落としてしまったり、とても重い後遺症を残すことになる場合があります。

健康診断の結果は、注意が必要な病気や生活習慣の改善のポイントを知る重要な手がかりとなります。当院地域保健課では、健診センターで特定健診や人間ドックをうけていただいた方を対象に、より健康的な生活を送っていただけるよ

う保健師、栄養士による健康相談を行っています。みなさんも、健診を上手に利用され、その結果をもとにご自分の生活習慣を振り返ってみましょう。明るく健康的な生活を送ることができるよう、当院健診スタッフがお手伝いさせていただきます。人間ドックについてのお問い合わせは、当院地域保健課までどうぞ！



健診センター



保健指導室



岐北地域医療連携セミナー が開催されました

7月12日(土)に、岐阜都ホテルにおいて『第7回岐北地域医療連携セミナー』が「岐北地域医療連携研究会」、「山県医師会」、「武田薬品工業(株)」の共催により開催されました。毎年開催されるこのセミナーには、山県医師会をはじめ、近隣の先生方や看護師、さらに当院の医師やスタッフなどが出席し毎回盛大に行われています。今回も152名の参加がありました。

このセミナーでは、毎回いろいろな講演が行われています。7回目となった今回のセミナーでは、益田和明連携室長から「岐北厚生病院の地域医療連携の現状」の報告が行われ、続いて、岐阜市民病院高橋健地域連携部長による「岐阜地域医師会連携パス機構による連携医療の展開」の基調講演と、藤田保健衛生大学医学部・臨床検査部講師田中郁子先生による「忍び寄る骨折 silent diseaseとしての骨粗鬆症」の特別講演が行われました。参加者は熱心に聞き入り、講演終了後には活発な質問や意見が交わされました。

当院では、このような交流をとoshi、地域医療機関との連携を深め、医療の役割分担を進めています。そして、地域の住民の方々にとって、より良い医療サービスが提供できるよう努めております。